

日本のモバイル・ビジネスPCの頂点をめざして、さらなる進化をとげ

B5ファイル・サイズ、薄型のボディ、1.49/1.60kgの軽さという抜群の携帯性と同時に、ビジネス・ワークのための高度な先進機能やユーザビリティ、手軽な拡張性能などを着実に装備したThinkPad X21。さらに今回は、4.8時間(64J/65J)の稼動時間をも実現し、また一步"日本のビジネス・モバイル・ユーザーが真に望むマシン"のカタチを実現しました。

ウルトラポート

キーボード・
ライト

キーボード・ライト・スイッチ
(Fnキーと同時に押します。)



ThinkPad X21のシステム本体は、優れたエネルギー消費効率(動作電圧の目標を達成)、国際エネルギースタープログラムの基準を満足している省エネルギーを実現、プラスチック材料の表示を行うなど、リサイクルを考慮した設計をしています。その他にも、ACアダプターへの消費電力は30W以下(これは2WのWまで削減、お客様によるHDDや、Mini PC アダプターなどのアップグレードや、ウルトラベースX2を装着して機能拡張を可能にすることでシステムの高効率化を図るなど、環境を配慮してデザインされています。システム39%にも、マニュアルはオンライン化により、従来のマニュアルのページ数を約50%削減(従来の約200ページ)にまで削減し、インクには水性インクを使用し、精製紙および再生紙には、100%再生インクおよび再生紙を使用しています。

電源スイッチ

インジケーター

ThinkPadボタンと
ボリューム・ボタン

トラックポイント

センターボタン
(スクロール機能)

ロング・バッテリー・ライフ

CPUにIntel® 低電圧版モバイル Pentium® III 700MHz SpeedStep™テクノロジー、または、超低電圧版モバイル Celeron™ 500MHzを搭載。さらに、バッテリー性能や内部の排熱構造など、機構の一つひとつにも細心の注意を払って設計した結果、上位モデル(2662-64J/65J)ではバッテリー駆動時間、4.8時間を実現。モバイルPCとしての価値をさらに高める、余裕のバッテリー駆動性能を獲得しました。

たThinkPad X21

使いやすいThinkPad

ThinkPad X21には、使いやすさのための工夫や機能、デザインがさまざまに備わっています。その主なものをご紹介します。

使いやすい大きさ

日本のビジネス・ユーザーが持ち歩く一般的な大きさのバッグに、縦にすっきり入る高性能ノートPCをめざして開発されたThinkPad X21。その結果、B5ファイルサイズ、薄さ約25~30mm、軽さ約1.5~1.6kg程度というコンパクトさと、1,024×768ドット・XGA表示が可能な12.1型 TFT液晶による豊かな表示環境を実現。電車の中や商談の席などでも、サッと取り出して使うことができる、まさに「ビジネス・モバイル」と呼ぶにふさわしいプラットフォームです。



[ThinkPadボタン]

キーボードの最上段部に設置された「ThinkPadボタン」を押すと「Access ThinkPad」が起動。各種の機能や操作方法などについて、動画などを使って細かくご説明する「ThinkPad Assistant」を参照したり、ワンクリックでIBMのWebページにアクセスして、さまざまな情報を入手したりすることができます（事前にインターネットに接続している場合）。

※マシンが起動できないなどのトラブル時に参照するマニュアルは、別途同梱されています。



[イージー・オープン・カバー]

片手でカバーの開閉が簡単にできる「イージー・オープン・カバー」を採用。細かな使い勝手の部分にも、ThinkPadならではの、人に優しい工夫を盛り込みました。

[eフラッシュ採用]

eフラッシュとはBIOSの更新にディスクドライブを必要としない新しい機能。Webから最新のBIOSをダウンロードして実行するだけで、今までのようにディスクに格納する必要もなく、素早く手軽に更新終了。いつでも最適な状態でマシンを使うことができます。

ThinkPadダウンロード <http://www.ibm.com/jp/pccsvc/thinkpad.html>

手元を明るく照らすキーボード・ライト

暗い室内でも手元の明るさを確保するキーボード・ライトを装備。プレゼンテーションの際や飛行機の中でも明るいキー操作環境を作り出します。



※写真は、製品の機能を紹介するためのイメージ映像です。

使いやすいキーボード

コンパクトであっても使いやすさは犠牲にしない。そのためにキーピッチ18.5mm、キーストローク2.5mm、キー配列7列のキーボードを採用。さらに、センターボタンとクリックボタンを1列に配置した新しいトラックポイントの採用により、広いパームレスト・スペースを確保し、スムーズなキー入力環境を提供します。

使いやすいデザイン

かばんの中で誤って起動しないよう、電源ボタンはキーボード上面に配置。また、矢印キーやトラックポイントのクリックボタンの周囲に凹型のデザインを施して、より正確にタイプできるよう工夫したキーボード・デザインなど、ハードウェア・デザイン面でも細かな使いやすさを追求しました。

[ボリューム・ボタン]

ThinkPadボタンの右には音量の上下やミュート（消音）が指先ひとつで行える音量調節キーを配置。さらにその横には、マシンの状況などを示す各種インジケーターや電源スイッチが配置されています。

[トラックポイント]

もちろん、キーボードの中央にはThinkPadの“象徴”トラックポイントを装備。従来のThinkPad同様、スクロール機能を備えたセンターボタンとのコンビネーションにより、表計算もメールも軽快に作業することができるだけでなく、よりいっそう操作しやすく、長時間使っても疲れにくいよう、改良が加えられています。



使いやすいプレゼンテーション・ディレクター

ほとんどのLCDプロジェクターが適切に使えるよう、設定が手軽に行える「プレゼンテーション・ディレクター」を標準装備。“ビジネス・ノート”としての優れた実用性を示す機能のひとつです。



ウルトラポート標準搭載

パネル上部についた、将来性抜群のインターフェイス。ウルトラポートカメラII（別売）装着でビデオ会議も可能。



このスマートなコンパクト・ボディーに最新のテクノロジーを

超低電圧版 モバイルCeleron 500MHz、

または、低電圧版 Intel モバイルPentium III 700MHz SpeedStep テクノロジーをCPUに採用。HDDは大容量の10/20GB。

また、メモリーは最大320/384MBまで拡張可能と、迅速、スムーズな業務処理を実現するための確かな基本性能を装備しました。

先進の新素材

モバイル・ノートの「より薄く、軽く、頑丈に」という命題を、ThinkPad X21は新素材の採用によって実現しました。すなわち、本体の底面には十分な剛性と軽さを得るために「マグネシウム」を、パームレスト部分には手の汗や脂に強く、液晶画面に傷を付けない「カーボン・ファイバー」を使用しました。そしてパネル部分には薄く、軽く、頑丈で、電波に干渉しにくい「チタン複合素材」を採用。発売が予定されているウルトラポータブル用ワイヤレス・デバイスも快適に使用できます。

先進の拡張性

徹底したスリム化、コンパクト化を図る一方ですぐれた拡張性を追求したThinkPad X21は、レガシーポート・フリーをさらに進め、シリアル、パラレルの代わりに、USBポートを2つ装備。Mini PCI Comboカード搭載で、モデム機能、LAN機能の両方に対応するほか、機能拡張の可能性をもったウルトラポータブル、コンパクトフラッシュType II対応スロットを搭載し、あらゆるビジネス・シーンをサポートします。

先進のバッテリー駆動時間

ThinkPad X21では、機構のさまざまな部分で省電力性能をアップ。例えばCPUは、上位機(2662-64J/65J)では、SpeedStepテクノロジー対応のインテル低電圧版モバイル Pentium III 700 MHzを採用。ACアダプターかという電源の違いに応じて、動作速度を700MHz/500MHzに自動的に切り替えて消費電力量を抑えます。また、システムのパフォーマンスを考慮してバッテリーの持続時間を長くする、「バッテリー・マキシマイザー」を標準添付。バッテリーそのものも、高密度実装技術の採用により大容量バッテリー(6セル)使用時には(2662-64J/65Jに標準搭載)では4.8時間というバッテリー駆動時間を実現。しかも、長時間の駆動でも本体に著熱しないよう、ThinkPad X21では、本体内部の放熱板に熱伝導効率の良いアルミニウムを使用し、ムダなく熱を逃がすことで内部の高温化を防ぐほか、ハイパワーの冷却ファンで、熱を本体の外へと排出。優れたパフォーマンスの維持のため、ここにも最新のテクノロジーを用いています。



大容量Li-Ionバッテリー・パック
(6セル)



ウルトラポート

Network Ready

ThinkPad X21は、LAN接続に対応するコンボタイプのMini PCIアダプターを標準装備。ケーブルを差し込むだけで手軽にネットワークを利用することができます。しかも高速モデム機能はワールドワイド※対応ですから、海外出張時でもインターネットに接続することが可能です。

※モデム対応国についての最新情報は、ThinkPad®をどうぞご覧ください。
<http://www.ibm.com/jp/pc/thinkpad/>

Disk to Disk採用

ハードディスクをリカバリーする時は、Recovery CDからではなく、ハードディスクからのリカバリーが可能なDisk to Diskを採用。CD-ROMドライブがなくても、簡単に素早いリカバリーが可能になりました。

※リカバリーをされると選択したOSのライセンスのみが有効になります。
 ※この機能はハードディスクを交換、またはアップグレードをした場合には付随しません。

コンパクトフラッシュ Type II 対応スロット

ThinkPad X21はコンパクトフラッシュType II対応スロットを装備。デジカメやMP3プレイヤー用コンパクトフラッシュ・メモリー、通信ユニットなどにも採用されている標準規格で、PCカード・アダプターを付けなくてもIBMの超小型ハードディスク、マイクロドライブを直接使用できるので、データ交換もスムーズに行えます。



※1GB microdrive (別売)
 ID: 09N4194

ヘッドフォン

マイク

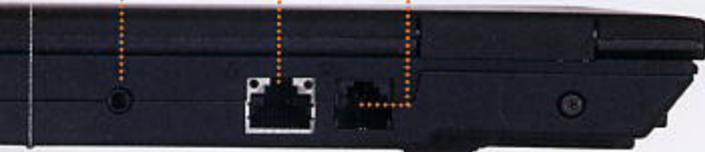
コンパクトフラッシュ
Type IIスロット

PCカードスロット

Line-In

Ethernet

モデム



オプション機器の活用により、デスクトップ機としても、モバイル

ノートPCのシステムを活用する際、ともすれば問題になるのがケーブル類の接続に関する点。

しかし、豊かな拡張性を提供するポートブリッカーやドッキング・ステーションなどのオプションを利用すれば、こうした問題を一挙に解決し、ThinkPad X21を高性能デスクトップ機として活用することができます。

多彩なオプションを装着でき 幅広い使い方を提供できるウルトラベースX2

ウルトラベースX2(別売)はディスク・ドライブを内蔵し、ウルトラベイ2000を装備。このほかシリアル、パラレル、キーボード/マウスポートなども装備。ウルトラベースX2をThinkPad X21に合体させることで、X21はオールインワン・ノートブックに変身します。

※1 ウルトラベースX2は電源を入れたままでの脱着が可能。
※2 別売でウルトラベースX2とCD-ROMドライブ、DVDドライブまたはCD-RWドライブのセットもご用意しています。

オプションで追加できるポート、デバイス

シリアル、パラレル、マウス/キーボード(PS/2)、ウルトラベイ2000、内蔵ディスク・ドライブ

24X/10X CD-ROM
ウルトラベイ2000ドライブ
(05K9233)



8X/4X/24X CD-RW
ウルトラベイ2000ドライブ (08K9569)

8倍速 DVD
ウルトラベイ2000ドライブ (27L3448)

ウルトラベイ2000
セカンドHDDアダプター (08K6068)

10GBディスク・バック (08K9510)

20GBディスク・バック (27L3439)

32GBディスク・バック (08K9511)

ウルトラベースX2に 装着可能なデバイス(別売)

TCO削減に貢献する多彩なソリューションに対応します

各製品にLAN接続対応のイーサネット機能、あるいは、LAN/モデムの両方に対応するMini PCI Comboカードを標準で装着した新しいThinkPadシリーズには、TCO削減ソリューションも多数搭載。ネットワークを介して、効果的な管理やコスト削減を実現することが可能です。

Wake on LAN®

Wake on LANは、ThinkPadを電源とネットワーク・コネクタに接続しておけば、電源がoffになっていても、遠隔地から立ち上げることができる機能です。LCCMなどとの組み合わせにより、システムのセットアップやBIOSの更新などを、離れた場所から実行することができます。

UMS (Universal Manageability Service)

業界各社のシステム管理ツールへの対応を可能にするクライアント上のソフトウェアで、システムをより便利にリモート管理できるようになります。また、アプリケーションにシステム情報を受け渡すための標準インターフェイスCIM(Common Information Model)をサポートLAN経由でAsset IDを利用するためのEEPROMを搭載し、ユーザー・データの記録/管理を行うことも可能です。

便利さ、扱いやすさ、コスト面など、 メリットいっぱいのオプション機器

ThinkPad X21は、ThinkPad A22p/A22mやT22などで使えるポート・ブリッカーやドッキング・ステーションなどのオプション機器を共用できます。これらオプションの大きな特長は、わずらわしいケーブルの抜き差しが、手軽に、一挙に解決できること。プリンターやACアダプター、LANなどのケーブル類をこれらオプションにつないでおけば、外出する際も、ワンタッチで本体のみを取り外して持ち出すことができます。しかも、本体の電源はONのままでも取り外しが可能。通常よく使う場所にこれらのオプションを用意しておけば、ThinkPad X21をワンタッチで装着して使用することが可能です。もちろんデバイスが共用できることで、資源の共有化もでき、コスト・セービング面でのメリットも享受することができます。

※ ThinkPad ドックを使用している場合はベイデバイスに内蔵のドライブによっては脱着するときに、電源を切るか、またはサスペンドにする必要がある場合があります。

国際保証対応モデル

国境を越えた安心の保証サービスがあなたのThinkPadを守ります。ThinkPad X21は海外でも保証が受けられる「PCハードウェア国際保証対象品※1」。ThinkPadともに世界を歩く人のためにIBMならではのワールドワイドな保証サービスを提供しています。また「安心パックEMS」※2(有料)にご契約いただくと、通常の保守サービスに加えて、購入後3年間にわたってThinkPadの修理/交換や盗難/紛失時の保証、お客様の過失により破損した場合の修理/交換がサポートされます。

※1 ハードウェア国際保証は本製品が販売されている国に限定されています。

※2 海外での紛失/盗難のサポートはありません。各サービスの詳細につきましては製品に同梱されている「IBMサービスのご案内」をご参照ください。

LCCM (LANClient Control Manager™)

ネットワークを通してクライアントPCに自動的にダウンロードする機能。OSと同時にアプリケーションを導入することも可能で、システム管理者の負担を大幅に軽減することが期待できる機能です。

